





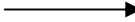
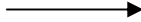








9月の価格見通しと秋冬野菜の生育状況について（9月3日現在）
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）



（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況 等
根 菜 類	生育は概ね順調。
葉 茎 菜 類	生育は概ね順調。ただし、はくさいは、小玉傾向が継続。
果 菜 類	生育は概ね順調。ただし、東北産地のきゅうり、トマト、ピーマンの一部は樹勢の低下。
土 物 類	生育は概ね順調。ただし、さといも、たまねぎは少雨により、小玉傾向。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年9月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等 〔 上段：夏産地 下段：秋冬産地 〕	価 格 見 通 し	
			9 月 前 半	9 月 後 半
だ い こ ん	北海道(64%) 青 森(29%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。 北海道や青森県は、例年どおり、10月後半まで出荷が続く見込み。 10月後半から出荷が始まる千葉県では、播種作業は順調に進んでいる。 	→	→
に ん じ ん	北海道(96%) 青 森(1%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。 北海道や青森県は、例年どおり、11月前半まで出荷が続く見込み。 11月後半から出荷が始まる千葉県では、播種作業は概ね例年どおり終了し、生育も順調。 	→	→

はくさい	長野(91%) 群馬(5%)	<ul style="list-style-type: none"> 夏期の高温・少雨に伴い小玉傾向となっていることから、前半は、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 後半は、8月下旬以降の適度な降雨により小玉傾向が解消し、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 長野県では、例年どおり、10月後半まで出荷が続く見込み。 11月前半から出荷が始まる茨城県では、定植作業は順調に進んでいる。 		
キャベツ	群馬(78%) 岩手(13%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 群馬県は、例年どおり、10月後半まで出荷が続く見込み。 10月後半から出荷が始まる千葉県では、定植作業は順調に進んでいるものの、11月前半から出荷が始まる愛知県では、少雨により、定植作業が遅延する可能性。 		
ほうれんそう	群馬(32%) 栃木(25%)	<ul style="list-style-type: none"> 高温による生育遅延が一部に見られるものの、8月下旬以降の気温の低下で生育が回復傾向にあるため、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 		
ねぎ	青森(30%) 北海道(16%) 秋田(11%)	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県では、8月から大雨等により生育不良となっているものの、その他の産地では生育が概ね順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 北海道及び青森県にあつては、概ね例年どおり、11月前後まで出荷が続く見込みであるが、秋田県にあつては生育不良のため、11月前半までの出荷終了が早まる可能性。 12月前半から出荷が始まる埼玉県、千葉県では生育は順調。 		

レタス	長野(83%) 群馬(10%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月下旬以降の適度な降雨により、生育が前進していることから、前半は、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。 後半は、生育が落ち着き、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ・ 長野県にあつては、概ね例年どおり、10月前半までの出荷が続く見込みであるが、生育が前進しており、出荷終了が早まる可能性。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月後半から出荷が始まる茨城県では、定植作業は順調に進んでいる。 		
きゅうり	福島(30%) 岩手(12%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月から的高温に伴い生育が前進し、樹勢が低下しており、前半は、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 後半は、群馬県など後続産地の生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ・ 福島県にあつては10月後半、岩手県にあつては9月前半まで、概ね例年どおりの出荷が続く見込みであるが、樹勢の低下により、出荷終了が早まる可能性。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月後半から出荷が始まる群馬県、埼玉県では生育は順調。 		
なす	栃木(32%) 群馬(24%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月から的高温に伴い生育が前進し、前半は、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 後半は、生育が回復してくることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ・ 栃木県、群馬県にあつては、概ね例年どおり、10月前半までの出荷が続く見込み。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月前半から出荷が始まる高知県では、定植作業は順調に進んでいる。 		

トマト	青森(19%) 千葉(18%) 福島(16%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月からの高温に伴いやや樹勢が低下しているものの、概ね生育は順調であることから、<u>前半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 後半は、千葉県など後続産地で、高温の影響により生育遅延していることから、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ 青森県、福島県にあっては、概ね例年どおり、10月前半までの出荷が続く見込みであるが、樹勢の低下により、出荷終了が早まる可能性。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月後半から出荷が始まる愛知県では、少雨により定植が遅延する可能性。 	→	
ピーマン	茨城(34%) 岩手(30%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月からの高温に伴い、生育が前進し、樹勢が低下しており、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 後半は、茨城県など後続産地の生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> ・ 岩手県にあっては、概ね例年どおり、10月後半までの出荷が続く見込みであるが、樹勢の低下により、出荷終了が早まる可能性。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月前半から出荷が始まる宮崎県では、育苗作業は順調に進んでいる。 		→
ばれいしょ	北海道(93%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少雨による小玉傾向が解消しつつあり、出荷が本格化することから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 	→	→
さといも	千葉(58%) 宮崎(27%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の産地において、少雨による肥大不足となっているものの、<u>需要期ではないことから、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 	→	→
たまねぎ	北海道(96%) 輸入(5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道で降雨に伴う定植遅れ、その後の少雨による影響で小玉傾向であるものの、出荷が本格化することから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 	→	→